

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	政策調整課			両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会参画事業	款	2	新規or継続	継続事業
	係	政策調整係			根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	721	名称	目	7	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	7	市民参加による自立したまちづくり	事業開始年度	平成17年度	実施方法	直営		
	政策	2	多彩な交流と情報活用によるまちづくり	事業終了年度		事業分類	参画事業		
	施策	1	国際交流・地域連携の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会に参画し、両毛地域の活性化について意見交換等を行っている。 * 両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会とは、両毛地域7市(足利市、佐野市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、みどり市)、各市の商工会議所及び東武鉄道の協調による各種事業の実施により、両毛地域の活性化を図ることを目的としている。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	両毛地域の活性化	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		両毛地域の人口	人	812,201	804,901	799,054		

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	年4回の会議 [担当者会議×3 (対面2, web1)、総会 (7/24 足利市)] ・公共交通ネットワークのあり方の研究 ・スタンプラリーの実施
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
担当者会議開催数	回	3	5	4
協議会の事業数	件	0	0	2
事業費計	千円	80	80	80
一般財源	千円	80	80	80
特定財源 (国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	両毛地域と東武鉄道株式会社が、相互に協調・連携して、両毛地域の活性化の推進を図る。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
両毛地域の人口	人	812,201	804,901	799,054	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
指標全体	効果が下がった	

* 10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用が増加した		○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公共交通ネットワークのあり方の研究に応じた東武鉄道(株)・協議会の協同した対応策の実施

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)	取組説明 「両毛地域東武鉄道沿線活性化構想」に基づき、次の諸施策を推進する。 (1) 広域からの観光・交流の推進、(2) 地域の魅力、賑わいの創出 (3) 公共交通ネットワークのあり方の研究 「両毛地域東武鉄道沿線活性化構想」に基づき、具体的な施策検討を進めるため「事業計画書」の策定を行う。
---	--

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	両毛広域都市圏総合整備推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	政策調整課			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	政策調整係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	721	名称	根拠法令、条例等	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	7			市民参加による自立したまちづくり	事業開始年度	平成4年度	実施方法	直営
	政策	2			多彩な交流と情報活用によるまちづくり	事業終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1			国際交流・地域連携の推進				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県、群馬県及び両毛地域の6市5町による両毛広域都市圏総合整備推進協議会に参画し、両毛地域における都市圏の推進に関する調査研究、事業、広報活動等を行う。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	県、市町の境界を越えた一体感を醸成し、広域的な都市圏が整備される。
-------------------------	-----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
連携している自治体・企業数	団体		143	144	145	146

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の実績) 協議会への負担金の支払、会議等への出席、両毛交流イベント実行委員会の事務局を担いイベントを運営した。 (協議会の実績) 公共施設相互利用、ホームページの運用 両毛交流イベント(りょうもうぐるメスタンプラリー)の開催
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会議・研修会等の回数	回		6	6
協議会の事業数	回		2	2
事業費計	千円	0	166	166
一般財源	千円		166	166
特定財源(国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	行政各分野における都市間の広域連携を図り、事業の充実を図る。
------------------	--------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
連携している自治体・企業数	団体		143	160	幅が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和4年度と比べて、りょうもうぐるメスタンプラリーにエントリーした人が1701人も減少しているため、イベントの周知等の参加者増加のための方法を模索する

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
協議会のあり方について、各研究会において改善の提言を行う。 各市・各町でのイベントにもスタンプラリーのスポットを設置するなど、スタンプラリーの参加者増加の取組や、チラシの配布数を減らし、SNSを活用することで、コスト削減を図る。